



# 良質な医療・看護の提供を目指した 看護職のリーダーシップ能力の育成

保健福祉学部 看護学科

准教授 吉田 和美 (よしだ かずみ)

連絡先 県立広島大学 三原キャンパス 3515 号室  
Tel 0848-60-1120 (代表) Fax 0848-60-1160  
E-mail kyoshida@pu-hiroshima.ac.jp

専門分野： 基礎看護学 看護管理学

キーワード： リーダーシップ能力, チームケア, 看護継続教育,  
看護マネジメント, ポジティブアプローチ

## ● 主な取り組み・活動

これまで、就職して数年が経過した時期にある看護職のリーダーシップ能力の育成に関わる研究や看護管理者（看護師長）の役割に関する研究をしてきました。

リーダーシップとは「個人や集団を、ある目標に向かわせるよう、影響を与えるプロセス」のことをさします。看護職は、患者の疾病予防や健康回復という目的を実現するために職務を果たす必要があります。すべての看護職はこの目的を果たすために、患者や医療チームに働きかける必要があります。新人であろうとベテランであろうと、リーダーシップを発揮することが求められています。

「組織においてリーダーシップが果たすべき役割とは、たとえシステム全体に弱みが存在するとしても、組織の強みを再構成することにより、これが何ら影響力を持たないような状況を作り出すことである。」と言われていきます。組織の強みを倍増できるような看護職の育成を目指して、医療施設における卒後研修では、AI (Appreciative Inquiry) 理論の考え方によるポジティブ・アプローチの手法を活用した研修プログラムを作成し実施しています。

## ● 今後の目標・抱負

看護チーム内でのリーダーシップスタイルでの違いが、看護職のチームメンバーの看護業務にどのように影響しているのか、関連を調査していきたいと考えています。

リーダー性は個人の特性などの資質によるものだという幻想を払拭し、だれもが学修で身に付けられるものであることを看護基礎教育の段階から学び、責任を果たせる専門職を輩出できるよう取り組みたいと考えます。

## ● 地域・社会と連携して進めたい内容

医療・看護のチームワークの良さが、保健医療福祉を受ける消費者から評価を頂けるように検討していきます。

## ● これまでの連携事例・実績

2008年～2013年に近隣の4つの医療施設の看護管理職8名と大学所属研究者3名でリーダーシップ研究会を発足し、企画運営に連携してきました。リーダーシップに関する勉強会の開催や、看護師長の役割についての調査を行い、その結果を学会発表しています。

2012～2015年に「ポジティブ・アプローチを用いた『一人前』看護師のリーダーシップ能力の育成の検討」(基盤C)に取り組みました。現在も同手法を用いて、卒後3-4年目のリーダーシップ研修を行っています。